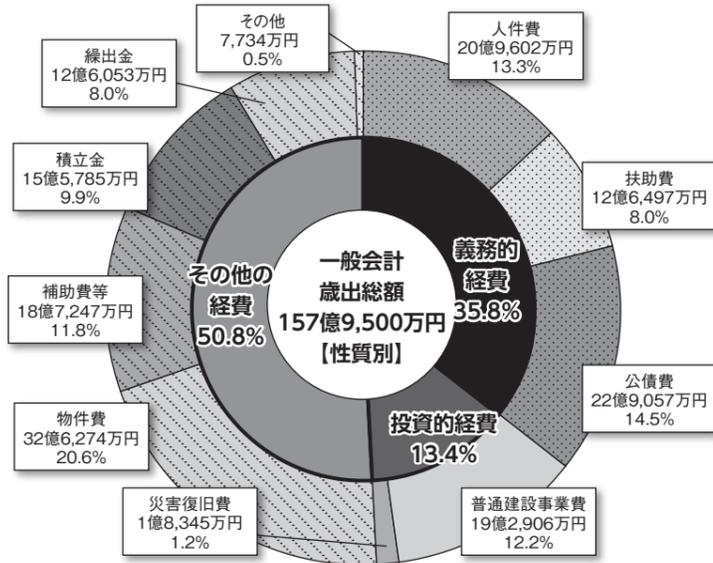
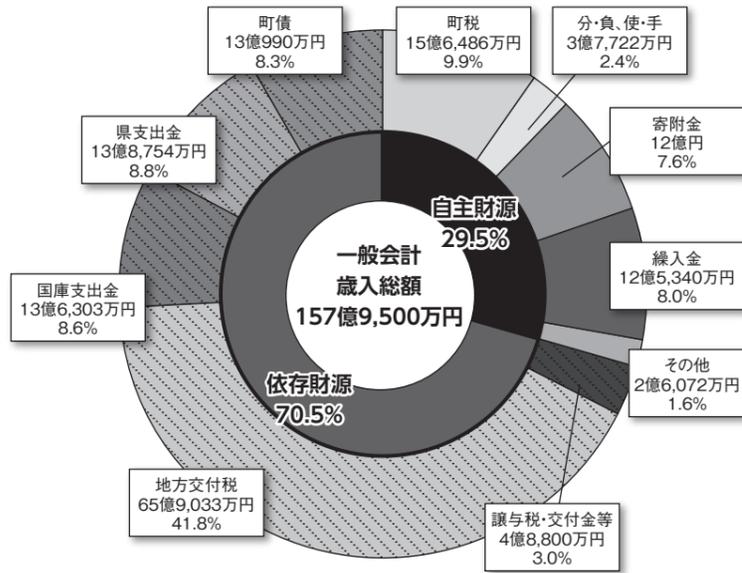


一般会計当初予算の概要

【歳入】

区分	平成29年度当初	構成比
(1) 自主財源	46億5,620万円	29.5%
町税	15億6,486万円	9.9%
分・負、使・手*	3億7,722万円	2.4%
寄附金	12億0万円	7.6%
繰入金	12億5,340万円	8.0%
その他	2億6,072万円	1.6%
(2) 依存財源	111億3,880万円	70.5%
譲与税及び交付金等	4億8,800万円	3.0%
地方交付税	65億9,033万円	41.8%
国庫支出金	13億6,303万円	8.6%
県支出金	13億8,754万円	8.8%
町債	13億990万円	8.3%
合計(1)+(2)	157億9,500万円	100.0%

*分・負、使・手=分担金および負担金、使用料および手数料



【歳出】 【性質別】

区分	平成29年度当初	構成比
(1) 義務的経費	56億5,156万円	35.8%
人件費	20億9,602万円	13.3%
扶助費	12億6,497万円	8.0%
公債費	22億9,057万円	14.5%
(2) 投資的経費	21億1,251万円	13.4%
普通建設事業	19億2,906万円	12.2%
災害復旧事業	1億8,345万円	1.2%
(3) その他の経費	80億3,093万円	50.8%
物件費	32億6,274万円	20.6%
補助費等	18億7,247万円	11.8%
積立金	15億5,785万円	9.9%
繰入金	12億6,053万円	8.0%
その他	7,734万円	0.5%
合計(1)+(2)+(3)	157億9,500万円	100.0%

町民1人あたりの予算額：889,959円

(平成29年3月1日現在：17,748人)

目的別一般会計歳出	金額	内訳
議会費	6,839円	(1億2,138万円)
総務費	223,470円	(39億6,614万円)
民生費	188,013円	(33億3,686万円)
衛生費	67,386円	(11億9,597万円)
農林水産業費	76,139円	(13億5,131万円)
商工費	13,983円	(2億4,817万円)
土木費	57,898円	(10億2,757万円)
消防費	46,173円	(8億1,948万円)
教育費	68,755円	(12億2,026万円)
災害復旧費	10,336円	(1億8,345万円)
公債費	129,061円	(22億9,057万円)
その他	1,906円	(3,384万円)

総務費…全般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

町の預金と借金残高(一般会計)

年度	積立基金(預金)残高	町債(借金)残高
平成29年度見込額	93億3,126万円	192億6,327万円
平成28年度見込額	90億2,467万円	198億8,362万円
平成27年度決算額	85億6,858万円	207億1,665万円

【メモ】

町債は、公共施設の建設などの財源として町が借り入れるお金で、いわゆる借金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済(元利償還金)の一部が、地方交付税として国から交付(算入)されるものが多数あります。左表の平成27年度決算額では、一般会計の町債残高が207億1,665万円となっていますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が支払う実質の負担額は51億1,410万円(町債残高の24.7%相当額)となっています。

平成29年度当初予算の概要

一般会計総額 157億9,500万円

[対前年度当初比+2億200万円・+1.3%]

平成29年度当初予算が可決されました

四万十町の平成29年度当初予算が町議会3月定例会で可決されましたので、概要についてお知らせします。一般会計における予算総額は、ふるさと納税の返礼品や事務経費、基金積立金といったふるさと納税関連経費19億3,919万円(前年度当初比で8億2,847万円の増)の影響等により、前年度と比較して2億200万円(1.3%)増加の157億9,500万円となりました。

また、国民健康保険事業などの10特別会計と水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は220億3,965万円となっています。

予算編成の基本方針

第2次総合振興計画の推進

～まちの将来像「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～

自律と共生のまちづくりを目指して

～「まちひとしごと創生総合戦略」に掲げた基本目標の着実な推進～

徹底した行財政改革と中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み

町民に対する説明責任と透明性の向上

以上のような基本方針のもと、合併から12年目を迎える平成29年度は、前年度から始まった普通交付税における「合併算定替から一本算定への段階的な縮減」による影響や、第2次四万十町中期財政計画に掲げた財政運営方針等を踏まえつつ、計画の初年度となる第2次四万十町総合振興計画に掲げる将来展望の実現と、公約に掲げた“活力あふれる四万十町の創造”に向け、国・県の動向等にも十分注視しつつ編成しました。その主な事業は次のとおりです。

一般会計の主要事業

総合戦略に掲げた4つの基本目標	内容
① 地域の特性を生かした雇用を創出する	四万十町雇用創出、複合経営拠点支援、新規就農者定着促進、農地集積交付金、園芸用ハウス整備、四万十川流域豊かな森林保全整備、特用林産産体制支援、自伐林業者等育成支援、町有林管理整備、コールセンター等立地促進、商工業振興、四万十町商工会運営育成事業
② 四万十町への新しい人の流れをつくる	ふるさと支援(ふるさと納税)推進、移住定住促進用住宅整備、移住定住促進(移住促進)、四万十川再生調査対策、ホビー館推進、松葉川温泉改修、幕末維新博連携、四万十川桜マラソン開催事業
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	移住定住促進(家族支え合い・若者定住促進)、不妊治療費助成、妊婦一般健康診査通院費助成、安心子育て支援(出産祝金)、新生児聴覚検査、乳幼児健診(言語発達健診)、乳幼児・児童医療費助成、多子世帯保育料軽減[歳入減]、子育て支援センター、就学奨励金(通学助成)給付、ICT教育推進、地域教育推進、教育研究所・教育支援センター事業
④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	地域おこし協力隊、地区活動支援等、集落活動センター推進、人材育成推進、高齢者等外出支援、あったかふれあいセンター、配食サービス、24時間電話健康相談、中山間生活用水確保支援、農山漁村振興交付金事業
その他の主要事業	予土線鉄道施設緊急耐震対策、福祉避難所運営(訓練等)、災害医療救護所用備品整備、興津診療所耐震改修、農業用燃料タンク対策、漁業用燃油タンク減災対策、県営ため池等整備負担金、県営農村災害対策整備負担金、橋梁耐震補強、橋梁一括点検・長寿命化、吉見川浸水対策、避難所運営加速化、自主防災育成、事業継続計画(BCP)作成、災害用備蓄品整備、災害対策本部・活動支援、災害対応型給油所整備促進、木造住宅・避難所等耐震化促進、志和地区津波避難対策、津波避難路等維持管理、放置漁船減災対策、防災施設整備、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進、防災教育推進、学校防災対策(ヘルメット購入)、学校防災対策(緊急地震速報装置設置)事業
その他	滞納整理システム導入、旧大正町役場解体、地域福祉計画・障害者計画等策定、環境基本計画(改訂版)策定、森林組合本所建築、下津井ヘルスセンター解体、こいのぼり公園再生整備、公営住宅建設(見付第1団地)、東又小学校プール改築、窪川中学校空調設備設置、中学校部活動用楽器購入、文化複合施設検討、ポルタリング設備整備事業

★詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。

【お問い合わせ先】 総務課 財政班 ☎22-3111